

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	精神看護学特講演習 I Seminar/Practice in Psychiatric and Mental Health Nursing			担当 教員	安藤幸子（専任） 山岡由実（専任）	
開講年次	1年次	単位数	2単位	科目 分類	専門科目	授業形態	実習	
選択必修	選択	時間数	90時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		<p>精神看護専門看護師や専任教員の指導のもと、臨床での実践を通して精神看護専門看護師に必要な高度な実践、コンサルテーション、調整、倫理調整、教育能力を養う。また実習を通して精神看護に関する研究課題を明確にし、課題研究や特別研究に繋げていく。</p>						
授業のキーワード		<p>精神看護専門看護師、実践、コンサルテーション、調整、倫理調整、教育、研究</p>						
講義回数	授業内容及び計画							
	<p>I. 実習          病院や地域でさまざまな精神の健康問題をもつ患者や家族のケースを受け持ち、専任教員や臨床指導者の指導を受けながら精神の健康状態や生活状況を評価し看護を展開する体験を通して、精神看護専門看護師に必要な高度なアセスメント能力、直接介入の能力を養う。また専任教員や臨床指導者、精神看護専門看護師の指導を受けながら、ケアマネジメント、心理教育、看護相談などを実践し、専門的な援助技術を高める。</p> <p>II. カンファレンス、事例検討          専任教員、臨床指導者、精神看護専門看護師も含めた個人カンファレンス          専任教員、大学院生とのグループカンファレンスや事例検討会          臨床現場でのカンファレンスや事例検討会を通して、実習体験を深める。</p>							
テキスト	<p>特になし</p>							
参考文献								
成績評価の方法	<p>実習目標の達成度、実習への取り組み、実習レポート、事例報告、カンファレンスや事例検討会への参加、出席などを総合して判断する。</p>							
教員から学生へのメッセージ								